



だっこするよ

令和元年9月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

過去の経験から 観察力からこどもの命を守る

9月1日、防災の日を迎えます。防災の日とは、政府、地方公共団体などの防災関係機関をはじめ広く国民が自然災害についての知識を深め、備えを強化して防災力を高めようと制定された日です。小さな命を集団でお預かりしている園として、日々、安全への備えを行い、こどもたちの命を守りたいと思います。

先日、全国公立保育園施設長セミナーに参加しました。講義「こどもの命をどう守るか？防災・危機管理」では、危機管理教育研究所の国崎氏が、予防と対策を強化して欲しいと話されました。

- 過去に起きた事例にもっと関心を持つこと、対応の共通理解のもと同じことを繰り返さないようにする。
- 小さな異常や変化を見逃さない、見逃すとやがて事故になる。日頃からの観察力を持つこと。
- 職員間の知識向上を図る。安全対策の知識・意識を同じレベルにする。
- 不測の事態に対応できる体制作り、安全な環境の構築、実践的な訓練、適切な指導、こどもへの安全教育、緊急対応の仕組みづくりが大切である。

「豊島園のプール事故も平成24年京都の小学校でビート版で1年生が水死する事故が起きている。この情報が活かされていたら豊島園の事故は防げたのではないか。保育中での川遊びの事故も繰り返し起きている。自然(川)は毎年来ているから大丈夫と思うのは恐ろしい間違いである。知識を持って欲しい。」平成20年神戸市都賀川での水難事故の映像を見ました。なんの予兆もない穏やかな親水公園で突然のゲリラ豪雨が起き、瞬く間に川が増水して遠足の小学生が多数犠牲となりました。自然に近づく場合は、情報の収集と小さな異常に気付くセンサーが必要であると。そして、「地震対策、日本に住む以上、地震はどこでも起きる。震度6では、机、椅子が凶器になり激しく室内を動き回る。時には、想定を変えた訓練も時に行うべきではないか。机下避難で命は守れますか？」そして、「防災気象情報を確認して下さい。行政の判断を待たず、刻々と変化する様子を見て、自分で判断し、即行動して欲しい。命を守るのは自分の判断力です。」と話されました。大人の防災への危機管理知識がこどもの命を握っていると痛感しました。常日頃の保育室の安全点検、職員間の共通意識を図り、お預かりしている218名の安全を徹底していきます。会議にてこの研修の学びを直ぐに共有しました。是非、御家庭でも避難勧告時にどのように避難するか、ライフラインが断たれた場合や帰宅困難時(お子さんは、園でお預かりしますのでご自身の命を第一に行動して下さい)について相談しておくこと安心ですね。また、自治体作成のハザードマップを見て、園へのお迎え経路も確認しておきましょう。園内にも掲示しています。

家庭状況調査表の緊急連絡先、非常災害時の園児引渡しについて変更がある場合、また、仕事が休みの場合や通常と異なる勤務の場合は、ノートや朝の受け入れ時に、その日の連絡先を必ずお伝え下さい。災害は今日起きるかも知れません。安心の連携を図っていきましょう。

さて、酷暑がようやく一息ですね。今年の運動会「みんなで力を合わせて頑張る運動会」年長組が決めたスローガンです。運動会ごっこを楽しむ声が…玉入れやパプリカの曲に合わせたダンス、とても可愛いです。10月5日例年通り八幡小校庭、雨天時は体育館をお借りいたします。今年も保護者ボランティアを募集いたします。テント張り、会場準備など御協力をお願い出来ればと思います。親子で参加する運動会！！みんなで健康に感謝して一緒に楽しみましょう。

写真は避難訓練の様子、園庭までの避難です。